

県内のフェロシルト施工現場の調査結果について

2005年07月29日

フェロシルトが使用された県内の施工現場 6 箇所の安全性を確認するため、放射線量及び有害物質（重金属等）等の調査を実施したところ、その状況は次のとおりでした。

なお、六価クロム等が検出された施工現場 3 箇所については、六価クロムあるいはふっ素が土壤環境基準を超えているものの、高濃度ではないこと、県及び地元市が周辺河川等で実施した水質調査結果では、有害物質は検出されていないことから、ただちに県民の健康に問題が生ずることはないと考えています。

1 調査結果の概要

(1) 放射線量

- ・全測定地点において、一般公衆の実効線量当量限度（一般住民がその場所で 1 年間生活する上での放射線の日安値：0.14 μ Gy/h）を下回っていました。
- ・全地点の測定値は、0.04～0.07 μ Gy/h の範囲内でした。

(2) 重金属等（溶出試験及び含有量試験）

- ・ 2 箇所の施工現場（亀山市辺法寺、久居市榊原）で採取したフェロシルトから、土壤環境基準を超過する六価クロム及びふっ素が検出されました。

また、他の 1 箇所（四日市市垂坂）では、土壤環境基準を超過するふっ素が検出されました。

亀山市辺法寺：六価クロム	0.06mg/L（環境基準値の1.2倍）
ふっ素	3.1mg/L（環境基準値の3.9倍）
久居市榊原：六価クロム	0.16mg/L（環境基準値の3.2倍）
ふっ素	6.0mg/L（環境基準値の7.5倍）
四日市市垂坂：ふっ素	4.3mg/L（環境基準値の5.4倍）

土壤環境基準値 六価クロム：0.05mg/L ふっ素：0.8mg/L

- ・六価クロム及びふっ素以外の有害物質（カドミウム、シアン、鉛、砒素、総水銀、セレン、ほう素）については、全ての施工現場で土壤環境基準に適合していました。

併せて、含有量試験も実施しています。

- ・石原産業（株）製造したフェロシルト（製品）からは、土壤環境基準を超える有害物質は検出されていません。

(3) 周辺水質調査

土壤環境基準を超過した施工現場 3 箇所については、周辺河川・水路等での水質調査も行いましたが、いずれの施工現場においても、六価クロムは検出されておらず、また、ふっ素は水質環境基準に適合していました。

2 今後の対応方針

- (1) 六価クロム等が検出された施工現場 3 箇所については、ただちに県民の健康に問題が生ずることはないと考えていますが、さらに現場周辺の安全性を確認するため、地元市と連携して、現場周辺の飲用井戸等の水質調査を早急に実施していきます。

- (2) 石原産業（株）に対しては、県等の立ち会いのもとで、全施工現場（6 箇所）内の有害物質等の詳細調査や、周辺の河川や地下水の水質調査等を実施するよう指導していきます。

- (3) 石原産業（株）からは、6月16日付けで「フェロシルトについて、自主回収を基本として必要な措置をとる」との申し出を受けていることから、今後、地権者や地元関係者と十分協議したうえで、すみやかに計画的な自主回収を行うよう要請いたしました。

(4)六価クロム等が検出された原因が特定できていないことから、県として、今後、分析結果の詳細な検討、関係者からの聞き取り調査、学識経験者等からの意見聴取などによる汚染原因の調査を行っていきます。



[調査の概要](#) (15 Kbyte)

連絡先 / 環境森林部 ごみゼロ推進室			
担当者	: 岡本、井上、佐藤	-	電話番号 : 059-224-2385
ファックス	: 059-222-8136	-	E-Mail : gomizero@pref.mie.jp

[戻る](#)

All Rights Reserved, Copyright(C)2003 Mie Prefecture
各ページの記載記事、写真の無断転載を禁じます。